

# ディスレクシア

文字認知のプロセスが異なる子供たちへの指導

一社) みんな天才化機構

2019年10月30日

作成者: 理事長

# ディスレクシア

## 文字認知のプロセスが異なる子供たちへの指導

### ディスレクシアという症状名があります。

日本語で読字障害とも言われるので障害だと思う方もいらっしゃると思いますが、これは単に認知のプロセスが異なるためにおこってくる症状ですから、障害ではないと私達は考えています。

文字を読む時に「あ」は良いのですが、「し」だと四、市、士、死、齒、氏、師など、「し」という音が表す言葉は様々あり、それらが混乱してしまう人たちがいるのです。そういう人たちが数十人に1人という確率で存在すると言われていています。

### 問題はもっと複雑

日本語には、ひらがな、カタカナ、漢字と3種類の文字が存在し、漢字自体にもさまざまな読み方があります。またアルファベットはABCは、文字の名前と音が一致しないため、英語の学習が加わると、読みはさらに難しくなります。

Rはアールと覚えますが、実際にはRをアールと発音する単語はありません。

小学校でローマ字を習うことも英語の文字と音の関係をわかりにくくさせている原因かもしれません。特に識字に難しさを感じていないお子さんでも、ここは躓きやすいポイントです。たとえば、フランス語やロシア語のアルファベットを習ったとしても文章は読めないのと同じことが起こっているのです。

### 好ましい障害

彼らは文字を読むことが苦痛で、例えば「明日はカレーをたべる。」という文章も、「あし」「た」「は」「力」「レーをた」「べる」などと変な認識になってしまいます。そこで俳優さんなどは自分で台本を読むのは非常に効率が悪く、誰かに台本を読み上げてもらってセリフを覚えているようです。また学校では読み書きに依存する部分が多いため、学生時代の成績は良くない場合が多いようです。

日本では、このような状態の表面だけを見て「知恵遅れ」「学習障害」とされてしまいますが、欧米ではディスレクシアは好ましい障害とも言われています。

ただ認知のプロセスがちょっと違うだけなのです。

### 指導方法

根気は必要ですが、一般的な人たちと同じような認知プロセスにするためには、耳からのインプットに対して、同じように喋らせたり書かせたりすることで、認知パターンを増やしていくしかありません。

その際に注意しなければならないのは、掛け算九九などで、にんがし  $2 \times 2 = 4$  を二人が死とか、ニンニク餓死などと区別ができない点です。

帰国子女にもこういった側面が見受けられることがあります。

これらの対策ですが、根気強く以下の学習をさせてください。  
もちろん高速聴学とビデオの速視聴をベースにしてくださいね。

- 朗読音源と本を同時進行させる。
  - 映画をたくさん見させる。
  - 見た映画や読んだ本に対して話す機会を増す。
- いずれにせよ、得意なこと、好きなこと、興味のあること等を中心にインプット&アウトプットを繰り返してください。

小さな子供が言葉を獲得する過程をより濃密に行う感覚です。

ゆっくり時間がかかっても「ぬ」「め」、「ね」わ」の区別がつくのであれば大丈夫。「さ」「ち」の区別がつくなら大丈夫。「幸」「辛」の区別がつくなら大丈夫！  
また、自分の家の住所などが覚えられるなら学習障害ではないです。

### 〇〇障害は本当に障害なのか

突然ですが、次の文章を読んでみてください。

このぶんよしうはにんんげはもじをにしんきするときそのさしいよとさいごのもさじえあいてつればじばんゆんはどうでもちんやとよめるからわざともじのじんばゆんをいれえかてあまりす。そくどぐとかんけいします。

私達のような一般人は、この文章をさらりとよみ飛ばせるのですが、ディスレクシアの人たちはそうはいきません。最初からつまってしまいます。

もう一度ゆっくり読んでみてください。私達は正確に読んでいない事が分かります。

こういったことを考えるとディスレクシアの人たちのほうが優秀だと思いませんか？私達塾の先生が大好きな「正確さ」について、どうお考えになるでしょうか。

みんな天才化機構では〇〇障害という言葉は、ほぼ使いません。

生まれつきの遺伝子障害や肉体の器官を欠損している場合、明らかな薬害である場合を除いて、食や水を変え、学習方法を変えれば対処可能と信じています。